

- 1** (1) killed by
 (2) global warming
 (3) ① 十分な食べ物を見つけられない。
 ② 生息地が小さくなってきている。
 ③ 土地が失われつつある。
- 2** (1) My bag is as cute as Yuki's. (2) wants to learn how to camp
 (3) are loved by many foreign people
- 3** (1) This country is three times as large as our country[ours].
 (2) Please tell me where to visit in Tokyo.

解説

- 1** (1) 本文1～2行目参照。
 (2) 本文4～5行目参照。
 (3) 本文5～6行目参照。
- 2** (1) as ... as ～を使った文。
 (2) 「…を学びたい」は wants to learn。how to camp in …「…でキャンプをする方法」が learn の目的語になる。
 (3) 受け身の文。主語は these comic books。そのあとは〈be動詞＋過去分詞＋by …〉の語順に。
- 3** (1) 「～より[の]一倍…」は one times as ... as ～で表す。
 (2) 〈tell＋(人)＋(もの)〉の(もの)に where to visit in Tokyo「東京でどこを訪れるべきか」を入れる。

- 2** (1) **2** (2) **1**
 (3) **2**

- 3** (1) **2** (2) **1**

写真と私たちの美しい惑星

① ① 1枚の写真が星野道夫の人生を変えました。② 彼は大学生で、ある日、アラスカに関する本の中の1枚の写真にとってもひきつけられました。③ それは荒野の真ん中にある小さな村の写真でした。④ その村がシシュマレフでした。⑤ 道夫は自分でその場所を訪れて、体験をしたいと思いました。⑥ それで、彼はその村の村長に手紙を書きました。⑦ 村長は道夫をアラスカに招待し、彼の夢は実現しました。

② ① ひと夏の間、道夫はそのアラスカの村でイヌイットの人々の中で暮らしました。② 彼はイヌイットの食べ物、家族の生活、そして文化について学びました。③ 彼はまた都会の便利さなしでどう暮らすかも学びました。④ イヌイットは肉を求めて狩りをし、食料としてベリーを集めます。⑤ 彼らには自然と調和して暮らすという長い伝統があります。⑥ 道夫はとても大切な何か、つまり全ての生き物はこの惑星を共有しているということを理解しました。⑦ その夏、彼はアラスカの荒野の一部になりました。

③ ① 道夫は日本で大学を終えたあと、アラスカに戻りました。② 19年間、彼は写真家としてアラスカのあちこちを旅行しました。③ 彼は野生動物の写真を撮るために、しばしば厳しい天候の中でキャンプをしました。④ 以前、彼はカリブーの写真を撮るために1か月間ツンドラに滞在しました。⑤ 道夫は荒野の中でさびしく感じましたが、彼は自由も感じました。

④ ① 道夫は彼の写真の中で自由や驚きという気持ちを伝えました。② 彼は私たちに楽しげなホッキョクグマ、美しい山々、そしてそのほかのすばらしい光景を示しました。③ しかしながら、彼の人生は突然終わりました。④ 1996年、彼がカムチャッカ半島でひとりでキャンプをしているとき、1頭のクマによって彼は殺されました。⑤ 道夫はかつて「私たちは生きるための人生を1つしか持っていません」と書きました。⑥ 道夫の人生は短かったですが、彼の写真は私たちと共に永遠に生きるでしょう。

⑤ ① 彼の写真は同じままですが、アラスカの荒野は変わりつつあります。② その氷河は地球温暖化のため消滅しつつあります。③ そのホッキョクグマは十分な食べ物を見つけることができません。④ カリブーの生息地はよりせまくなりつつあります。⑤ イヌイットでさえも彼らの土地を失いつつあります。⑥ 今や彼らは伝統的な生活の仕方を変えなくてははいけません。

⑥ ① 氷が水に変わり、海水面が上がるにつれて、アラスカの島々はより小さくなります。② シシュマレフはゆっくりと消滅しつつあります。③ 科学者たちは、北極地方は地球の残りの2倍速くあたたかくなっていると言います。④ 私たちが私たちの惑星をだいにしなければ、私たちの生活も変わるでしょう。⑤ 道夫の写真は私たちに私たちの美しい過去を思い出させますが、その未来はかなり違うかもしれません。⑥ この美しさを未来の子供たちに伝えるために、私たちは何をすることができるのでしょうか。

Let's Read 3

P.154

〔語句のチェック①〕

- ① アラスカ ② ベリー ③ 便利なこと[もの] ④ イヌイット(の) ⑤ 市長, 町長, 村長
 ⑥ 肉 ⑦ 中央, 真ん中 ⑧ 写真 ⑨ 惑星 ⑩ シシュマレフ ⑪ 伝統 ⑫ 大学
 ⑬ 荒野 ⑭ 彼自身を[に]

〔確認問題〕

- 1 (1) イ (2) ア (3) エ (4) ウ
 2 (1) tell me where to dance (2) told him when to study
 (3) show you how to make pizza (4) Could you tell me what to buy

P.155

〔練習問題〕

- 1 (1) among (2) for himself (3) come true (4) middle of (5) something cold (6) how to
 2 (1) The player became a member of the team. (2) I wrote a letter to her. / I wrote her a letter.
 (3) He knew what to study then. (4) Please tell me when to visit your house[home].
 3 (1) アラスカ, 荒野の真ん中にある小さな村
 (2) visit, experience, middle, wilderness

〔解説〕

- 1 (1) 「…の中で, …の間で」は among。
 (2) 「(彼が)自分で」は for himself。
 (3) 「実現する」は come true。
 (4) 「…の真ん中に[の]」は in the middle of ...。
 (5) 「何か」は something。something を修飾する形容詞は後ろに置く。
 2 (1) 「…になる」は become。過去形の became を使う。「…の一員」は a member of ...で表す。
 (2) write 「…を書く」の過去形は wrote。「彼女に」は to her とし a letter のあとに続ける。また, wrote A B 「A に B を書く」の形で表してもよい。
 (3) 「何を勉強すべきか」は what to study。knew 「…を知っていた」の目的語になる。
 (4) (tell + (人) + (もの)) の(もの)の部分に when to visit your house[home] 「いつあなたの家を訪れたらよいか」を入れる。
 3 (1) 本文 1 ~ 4 行目参照。
 (2) 本文 3 ~ 6 行目参照。

〔語句のチェック②〕

- ① …を集める, …をつむ ② …を狩る, 狩りをする ③ …を招待する, 招く ④ …を共有する
 ⑤ アラスカの ⑥ ひきつけられる ⑦ 生きている ⑧ 本当の, 真実の ⑨ 調和して
 ⑩ …の中で[に, を], …の間で[に, を] ⑪ 実現する, 本当になる ⑫ 自分で, 独力で
 ⑬ …の真ん中に[の] ⑭ …の一部 ⑮ understood ⑯ wrote ⑰ letter ⑱ life ⑲ part
 ⑳ something ㉑ member

P.156

〔語句のチェック①〕

- ① 北極地方 ② カリブー ③ 地球 ④ 自由 ⑤ 氷河 ⑥ 生息地 ⑦ カムチャツカ半島
 ⑧ 土地 ⑨ 過去 ⑩ 写真家 ⑪ 景色, 光景 ⑫ ツンドラ, 凍土帯 ⑬ キャンプをする
 ⑭ (しだいに) …になる ⑮ …を殺す ⑯ …に思い出させる, 気づかせる ⑰ 帰る, 戻る
 ⑱ のほる, 上がる, 上昇する ⑲ 十分な, 必要だけの ⑳ 楽しい, 陽気な ㉑ 厳しい

〔確認問題〕

- 1 (1) is called (2) is not known (3) can be (4) When was, built
 2 (1) 私の父と同じくらい背の高さです (2) 母と同じくらい早く起きます
 (3) デイビッドほど速く走ることはできません (4) あのえんぴつの2倍の長さです

[練習問題]

- 1** (1) twice as, as (2) turned into (3) because (4) As (5) pass on, to
2 (1) English is used in (2) played video games after I had
 (3) reminds me of him
3 (1) ① ○ ② ×
 (2) ① No, didn't ② nineteen

[解説]

- 1** (1) 「～の[～より]2倍…」は twice as ... as ～で表す。
 (2) 「…に変わる」は turn into ...で表す。
 (3) 「…のために」は because of ...。
 (4) 「…するにつれて」は接続詞 as を使う。
 (5) 「…を～に伝える」は pass on ... to ～と表す。
2 (1) English が主語の受け身の文に。〈主語+be動詞+過去分詞 ...〉の語順に。
 (2) 「…したあとに」は接続詞の after を使う。語群にコンマがないので、「私が夕食を食べたあと」は文の後半に置く。
 (3) 「…に～を思い出させる」は remind ... of ～で表す。
3 (1) ① 本文2行目参照。
 ② 本文4～5行目参照。
 (2) ① 本文1行目参照。
 ② 本文2行目参照。

[語句のチェック②]

- ① あたたかい ② 野生の ③ ゆっくりと、遅く ④ 2倍, 2度 ⑤ …に(なる)
 ⑥ 地球温暖化 ⑦ ホッキョクグマ ⑧ 海水面, 平均海面 ⑨ …を～に伝える
 ⑩ …に～を思い出させる ⑪ …になる, 変わる ⑫ ～より2倍… ⑬ bear ⑭ rest
 ⑮ scientist ⑯ wonder ⑰ end ⑱ lose ⑲ pass ⑳ stay ㉑ free ㉒ after
 ㉓ as ㉔ because

P.158 [定期テスト対策 語句・文法編]

- 1** (1) Earth (2) freedom (3) university (4) invite (5) 伝統 (6) …を共有する
 (7) あたたかい (8) ゆっくりと、遅く
2 (1) wrote (2) understood
3 (1) for himself (2) how to (3) came true (4) twice as, as (5) be held (6) reminds me of
4 (1) as old as (2) cannot[can't], as, as (3) was translated by (4) After (5) What, called
 (6) where to

[解説]

- 3** (1) 「(彼は)自分で」は for himself。
 (2) 「…の作り方」は how to cook ...。
 (3) 「実現する」は come true。
 (4) 「～の2倍…」は twice as ... as ～。
 (5) 受け身の文。hold の過去分詞 held を使う。will が使われているので、そのあとの be 動詞は原形 be にする。
 (6) 「…に～を思い出させる」は remind ... of ～。
4 (1) 「私は14歳です。ケンジも14歳です」 as ... as ～を使って1文にする。
 (2) not as ... as ～「～ほど…ではない」で表す。「メグミは私の姉よりも速く泳ぐことができます」を、「私の姉はメグミほど速く泳ぐことができません」という文に書きかえる。
 (3) 「鈴木さんは10年前にこの本を翻訳しました」を受け身の文にする。「この本は10年前に鈴木さんによって翻訳されました」とする。
 (4) 「私は公園でテニスをしました。そのあとで、家でテレビを見ました」という文を、接続詞 after を使って、「私は公園でテニスをしたあと、家でテレビを見ました」と1文にする。
 (5) 「彼は何と呼ばれていますか」という受け身の疑問文にする。
 (6) 「私はどこでギターをひくべきでしょうか。私に教えてください」という疑問文(原形)を使って「どこでギターをひけばよいのか私に教えてください」という1文にする。

⇒ 本書参照

- 3** (1) ① (2) ①
 (3) ① (4) ②
 (5) ② (6) ②

- 4** (1) ② (2) ②
 (3) ② (4) ②
 (5) ② (6) ①